

お隣の愛が重すぎ夜神さんは監禁性活で孕ませたい

※注意

「」から先は、本作「お隣の愛が重すぎ夜神さんは監禁性活で孕ませたい」の全トラック及び、3000DL特典まですべて試聴（読み）後に「」ご覧ください。

続編に繋がるネタバレが「」あります。「」注意ください。

## 【1万DL特典】暗くて湿った一人きりの地下室へ

「ほつ……ぶあつ……」

排水溝に流れる水。何かが奥の……さらに奥に詰まっている……。中を覗き」もうとしてやめた。」こは後でいい。それよりも彼女が過ごす空間を綺麗にすることが優先だ。

ガタ……ガタガタ……

「大丈夫、一人きりにしないよ」

吐く息が少し白い。季節はもう十一月だ。彼女に会つてから時の流れが一瞬に感じる。こは先月までいた都内のアパートよりも冷えるが、山奥の地下室故に人目を気にする必要がないことが利点だ。

ガタ……ガタガタ……

しばらくのコテージを使つていなかつたから、空気がゆがんで湿つてゐる。窓があれば換気もできるがあいにく小さな換気口くらいしかない。暖かかくしなければ、彼女が快適に過ごして孕めるように、色々と改善が必要だと感じる。

「待つててね、もうすぐだよ」

新しいベッドシーツ、彼女を縛つてゐる椅子、柔らかいブランケット、ロープ、彼女のお気に入りのヘアブラシ、赤いボンテージテープ、監視カメラ、記入途中の出生届け……いつ孕んでもいいようにもつと準備をしていかないと。

ガタ……ガタガタ……

「お待たせ、いい子に待てたね」

彼女の目隠しを外してあげる。不安げに揺れる一つの黒い目に僕だけが映る。ご覽、こが僕とキミが一生幸せに暮らす新しい場所だよ。

お隣の愛が重すぎ夜神さんは監禁性活で孕ませたい

「僕の愛しい人。さあ……まずはどこから可愛がつてあげようか」

続編へ続く